

2023 年度事業報告書

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

国際交流事業		
1	国際講演会	ア) スージー・リー講演会 (50 周年記念事業として)
2	IBBY 支部としての活動	ア) IBBY への意見表明と IBBY 臨時総会 イ) IBBY アジア・オセアニア支部オンライン会議とニュースレターへの寄稿 ウ) 2024 国際子どもの本の日ポスター制作担当 エ) 国際子どもの本の日キャンペーン オ) 日中韓共同プロジェクト カ) IBBY 年会費の納入 キ) IBBY の日本のスポンサーとの橋渡し ク) IBBY チルドレン・イン・クライシスへの協力
3	国際賞への推薦事業	ア) 2024 IBBY オナーリスト イ) 2023 IBBY バリアフリー児童図書 ウ) 2023 プラチスラバ世界絵本原画展 エ) 2023 アストリッド・リンドグリーン記念文学賞
4	派遣・出展事業	ア) ボローニャ・チルドレンズブックフェア (イタリア) ※ 2024 年度出展準備
調査研究・情報提供事業		
1	JBBY 賞	ア) 第 8 回授与
2	図書展	ア) 世界の子どもの本展 (8 会場)
3	ブックリストの作成	ア) 「世界のバリアフリー児童図書：IBBY による 2023 年選定図書」 イ) 「Japanese Children's Books 2023」 ウ) 「おすすめ！日本の子どもの本 2023」 エ) 「おすすめ！世界の子どもの本 2023」
4	講座・研究会	ア) 国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座 (4 回) イ) 新・編集者講座 (3 回) ウ) 子どもの本の翻訳フォーラム (1 回) エ) JBBY 希望プロジェクト学びの会 (3 回) オ) JBBY トークイベント (1 回)
5	会報の発行	「Book & Bread」(年 4 回、6・9・12・3 月)
6	ウェブサイトほか	ホームページ / Facebook / Facebook 会員サロン / X / X 英文 / Instagram / YouTube チャンネル / Peatix / メールマガジン
7	協力事業ほか	ア) 子どもの読書推進会議 イ) プラチスラバ世界絵本原画展 (国内巡回展) ウ) 山田養蜂場「ミツバチの絵本コンクール」 エ) 群馬県太田市美術館・図書館 オ) 後援名義の提供 ほか
その他の事業		
1	イタリア・ボローニャ国際絵本原画展	巡回展事務局業務 (3 会場)
2	希望プロジェクト	ア) 支援活動 (野馬追文庫・子ども食堂・避難してきた子ども ほか) イ) あしたの本だな (少年院ライブラリー) ウ) 募金活動
3	フォーラム・子どもたちの未来のために	学習会・講演会など (1 回)
4	会員活動	ア) ノンフィクションの子どもの本を考える会 (3 回) イ) 絵本部 (2 回) ウ) おしゃべり本の虫の会 (2 回) エ) 「おすすめ世界の子どもの本」に選ばれた翻訳家が YouTube で本を紹介
5	物販	なし
組織・その他		
1	総会・理事会	総会 1 回 (6 月) / 理事会 10 回

● 2023 年度カレンダー（2023 年4月～ 2024 年3月）

4月	2日：国際子どもの本の日 19日：2023 プラチスラバ世界絵本原画展国内選考会 20日：第1回理事会（オンライン） 24日～5月6日：世界の子どもの本展（板橋区立中央図書館） IBBY 年会費納入
5月	8日：第2回理事会（オンライン） 9日：ノンフィクションの子どもの本を考える会（オンライン） 13日：国際アンデルセン賞講座①（講師：百々佑利子） 15日～6月30日：世界の子どもの本展（出版クラブビル） 25日：IBBY アジア・オセアニア支部会議（オンライン） 25日：第3回理事会（オンライン） 29日：理事会から IBBY へ意見表明
6月	4日：フォーラム・子どもたちの未来のために（講師：志葉玲） 9日：トークイベント（講師：宇野和美、大作道子、おおつかのりこ、片桐早織、神谷丹路、河野万里子、櫻井映子、柴なほ、武富博子、南平かおり、野坂悦子、よこのなな、若松宣子） 16日：絵本部遠足（市原湖畔美術館） 23日：第53回総会（オンライン） 第4回理事会（オンライン） 24日～8月13日：イタリア・ポローニャ国際絵本原画展（板橋区立美術館） 29日：第5回理事会（オンライン） 30日：「おすすめ！日本の子どもの本 2023」発行 30日：会報 155 号発行
7月	10～21日：世界の子どもの本展（至学館大学） 23日：国際アンデルセン賞講座②（講師：游珮芸） 27日：第6回理事会（オンライン）
8月	19日～10月9日：イタリア・ポローニャ国際絵本原画展（西宮市大谷記念美術館） 27日：国際アンデルセン賞講座③（講師：林綾野）（オンライン） 29日：ノンフィクションの子どもの本を考える会
9月	7日：第7回理事会（オンライン） 11日：おしゃべり本の虫の会（オンライン） 18日：国際アンデルセン賞講座④（講師：シドニー・スミス） 29日：IBBY アジア・オセアニア地域リスニングツアー（IBBY 本部とのオンライン意見交換会） 30日：会報 156 号発行
10月	16日：新・編集者講座①（講師：植村八潮）（オンライン） 27日：希望プロジェクト学びの会①（講師：攪上久子）（オンライン） 2024年国際子どもの本の日ポスターを世界へ発送 2024IBBY オナーリスト選定
11月	4日：IBBY 臨時総会（オンライン） 7日：第8回理事会（オンライン） 10日～12月17日：イタリア・ポローニャ国際絵本原画展（石川県七尾美術館） 13～28日：世界の子どもの本展（田園調布学園） 17日：新・編集者講座②（講師：ギーター・ウォルフ） 28日：希望プロジェクト学びの会②（講師：須永祐慈）（オンライン） IBBY アジア・オセアニアニューズレター発行
12月	1日：「Japanese Children's Books 2023」「おすすめ！世界の子どもの本」発行 4～17日：世界の子どもの本展（福岡市早良南図書館） 19日：絵本部遠足（横須賀美術館） 31日：会報 157 号発行
1月	11日：ノンフィクションの子どもの本を考える会（オンライン） 13～28日：世界の子どもの本展（太田市美術館・図書館） 21日：子どもの本の翻訳フォーラム（講師：小川真理子、さくまゆみこ、竹内薫、原田勝、藤田千枝）（オンライン） 23日：第9回理事会（オンライン）
2月	7日：新・編集者講座③（講師：増田喜昭） 14日：希望プロジェクト学びの会③（講師：西野博之）（オンライン） 20～28日：世界の子どもの本展（国際交流基金） 26日：おしゃべり本の虫の会（オンライン）
3月	1日：「世界のバリアフリー児童図書」発行 8, 9, 16, 17, 20日：国際子どもの本の日・子どもの本の日フェスティバル（対面とオンライン） 17日：第8回 IBBY 賞授与式 17日：スージー・リー来日講演会（50周年事業） 20日：2025 IBBY バリアフリー児童図書国内選考会 25日：第10回理事会（オンライン） 31日：会報 158 号発行 2024 国際子どもの本の日ポスターを国内へ発送 IBBY アジア・オセアニアニューズレター発行

【国際交流事業】

1. 国際講演会

ア) スージー・リー氏来日講演会

IBBY50周年記念事業のキックオフとして、子どもの本の日フェスティバルの中で、2022年国際アンデルセン賞画家賞を受賞した韓国のスージー・リー氏を招へいし講演会を行った。「子どもゆめ基金」助成活動。参加者185人。

2024 3/17(日) 日比谷図書館 文化館大ホール (東京都)	スージー・リー 絵本が なく世界	講師：スージー・リー／聞き手：広松由希子／通訳：申明浩
-----------------------------------------------	------------------------	-----------------------------

2. IBBY 支部としての活動

ア) IBBY への意見表明と IBBY 臨時総会

(1) 臨時総会に至る背景

2022年9月に行われた総会の選挙で、ロシアから2名の役員（国際アンデルセン賞選考委員長とIBBY国際理事）が選出された。その後、ロシアのウクライナ侵攻が収束しないことから、一部の支部よりロシア排除の声があがった。結果、国際アンデルセン賞選考委員長は辞任、理事会の互選で副会長に選任されていたロシアの理事は副会長職を退任（理事は継続）。これに異議を唱えたIBBY国際理事1名と、IBBYトラストのメンバーが辞任。IBBYが守るのは子どもと子どもの本であって、政治や国籍に左右されるべきでないという声があがり、臨時総会の開催につながった。臨時総会に先立ち、IBBY会長と理事会は、地域ごとにオンラインによる意見交換会を実施。JBBYも、9/29のアジア・オセアニア地域の会に参加した。IBBYはこれを機に、オンラインを活用した定期的な支部との意見交換会を実施していく意向。

(2) IBBY への意見表明

JBBY理事会は討議のうえ、5/29に理事連名員の名（前理事会+宇野和美）で、下記の意見書を英語とスペイン語でIBBYに提出した。

今回のIBBYやIBBYトラストの動きを見ていて、JBBYとしては以下の見解を表明したいと思います。

まず最初に私たちは、子どもの本を通して国際理解、国際平和をとというIBBYの発足当時の理念に立ち返りたいと思います。

私たちはロシアのウクライナ侵攻には強く反対しておりますが、その人物が実際に他民族、他国の抑圧に加担しているという事実が明らかでないかぎり、国籍を理由にして圧力をかけるべきではありません。また総会で決まったことはもっと尊重すべきだと考えます。アナスタシア・アルヒポワ氏の国際アンデルセン賞選考委員長の辞任とデニス・ベズノソフ氏の国際理事会副会長解任については、とても残念に思っています。IBBY理事会が発足当時の理念に立ち返ることを希望します。

またIBBYトラストを今回辞任された方々は、これまでIBBYの屋台骨を支えてきた重要な方々です。辞任された方々にぜひ復帰していただきたいと考えています。

IBBY会長：さくまゆみこ

同理事：代田知子、土居安子、野上暁、広松由希子、おおつかのりこ、喜入今日子、木村有子、佐藤まどか、汐崎順子、神保和子、竹迫祐子、中野怜奈、廣松英樹、藤田隆広、吉田幸司、吉野万理子
次代会長候補：宇野和美

(3) IBBY 臨時総会

臨時総会がオンラインで開催され、宇野会長がJBBYの代表として出席した。

日時	2023年11月4日(土) 21:00(日本時間)
出席	48支部(議決権82の過半数)
可決事項	1) IBBYは、「政府の行為によりその国の支部がIBBYにおいて不適格とみなされるべきではない」ということを公式に表明する 2) IBBY約款を見直すためあらたな委員会を組織し、2024年8月末のIBBYイタリア大会を目的に検討する

イ) IBBY アジア・オセアニア支部、オンライン会議とニュースレターへの寄稿

アジア・オセアニア地域のIBBY支部でオンライン会議を実施した。

日時	2023年5月25日(木)09:00(ヨーロッパ時間)
議案	1) 2023年と2025年のIBBYアジア・オセアニア地域大会の開催について→2023年は実施せず、2025年は韓国で開催 2) 支部間の相互協力について(意見交換)

7年ぶりにIBBYアジア・オセアニア地域ニュースレターが復活し年2回発行されることになった。JBBYも日本のニュースを発信した。(2023/11月、

2024/3月)

ウ) 2024年国際子どもの本の日ポスターを担当

1995年以來29年ぶりに日本が、4月2日「国際子どもの本の日」のポスター制作担当国となった。

メッセージ（海外用三つ折り）	角野栄子
ポスター（海外用A1サイズ）	降矢なな
デザイン	タカハシ・デザイン室
協賛	大日本印刷、日産自動車、山田養蜂場

2022年8月	IBBYに立候補
2023年4月	日本が担当国に選定される
2023年10月	84のIBBY支部を通じて世界各国に送付（約150カ所）

エ) 国際子どもの本の日キャンペーン

(1) 世界共通ポスターとメッセージの発信

国際子どもの本の日ポスターとメッセージを、IBBY会員ほか全国の公共図書館や関連施設に配布、子どもの本の日フェスティバルの参加者にも手渡した。SNSで配信されたポスター画像に抽選でプレゼントを贈るポスターキャンペーンも実施した。協賛：大日本印刷、日産自動車、山田養蜂場、

メッセージ（国内用A4二つ折り）	5,000部
ポスター（国内用A2サイズ）	5,000部
配布先	会員（650）、全国公共図書館（3400）、関連団体（150）、本の日フェスティバル参加者（400）

(2) 記念イベントの実施

「IBBY子どもの本の日フェスティバル」を対面とオンラインの併用で実施した。子どもの本にまつわる様々な仕事体験とおして本の面白さを伝えた。協賛：日産自動車、「子どもゆめ基金」助成活動。参加者のべ477人。

2024 3/8.9 (金土)	・本の世界をたんけんしよう！「IBBYオナーリスト」「IBBYバリアフリー児童図書」「おすすめ！日本の/世界の子どもの本」に選定された国内外の児童書約500冊を展示。ゲームなどで本を楽しんだ。特別コーナーとして、わいわい文庫体験コーナー（3/8伊藤忠記念財団）、手話のおはなし会か（3/9まーの・あ・まーの）を実施した。	(会場) 童心社
3/16 (土)	・絵本作家体験「スージー・リーと絵本をつくろう」 講師：スージー・リー 通訳：申明浩	日比谷図書館文化館
3/16 (土)	・科学あそび「偏光板であそぼう～色のかわる小箱づくり」 講師：坂口美佳子	日比谷図書館文化館
3/16 (土)	・翻訳家体験「物語の翻訳ってどうやるの？」 講師：前沢明枝	日比谷図書館文化館
3/16 (土)	・図書館員体験「ミニ・ブックトークにチャレンジ！」 講師：神保和子、笹岡智子	日比谷図書館文化館
3/17 (日)	・あそびうたと工作「マリオネットと歌おう！踊ろう！冒険しよう！」 講師：上地史人、三根政信	日比谷図書館文化館
3/17 (日)	・製本体験「ミニミニ絵本を作ろう～キラキラのしおり付」 講師：宮崎詞美	日比谷図書館文化館
3/17 (日)	・作家体験「わくわくする物語の作り方、教えます」 講師：山本悦子	日比谷図書館文化館
3/20 (水祝)	・画家体験「たてのさんと絵をかくぞ！」 講師：館野鴻	オンライン

■国際子どもの本の日

IBBYは1966年に、アンデルセンの誕生日である4月2日を「国際子どもの本の日」と定め、各国で本を普及するイベントを奨励した。翌67年からは、IBBY支部が交代に記念ポスターとメッセージを作成し、世界中に発信している。

オ) 日中韓共同プロジェクト

2019年に始動。IBBYの日本・中国・韓国支部が毎年テーマを決めて5冊ずつ自国のおすすめ本を選ぶ。第5回のテーマは「Home」。中国・韓国の本の情報が揃い次第ウェブサイトを更新する。

<https://jbby.org/cjkby-project/>

日本の本	『こたつ』（絵本）麻生知子作 / 福音館書店
	『わたしのあのこ あのこのわたし』（読みもの）岩瀬成子作 / 上路ナオ子装画 / PHP 研究所
	『ウィズ・ユー』（読みもの）濱野京子作 / 中田いくみ装画 / くもん出版
	『小さな里山をつくる一チョウたちの庭』（ノンフィクション）今森光彦著 / アリス館
	『草はらをのぞいてみればカヤネズミ』（ノンフィクション）福田幸広写真 / ゆうきえつこ文 / 小学館
選書	奥山恵、坂口美佳子、さくまゆみこ、笹岡智子、汐崎順子、土居安子、広松由希子、福本友美子、野上暁
原稿執筆	坂口美佳子、汐崎順子、福本友美子
翻訳	神谷丹路、王玉、李麗
編集	竹迫祐子、藤田隆広、堀内まゆみ

カ) IBBY 年会費の納入

年会費 7,500 スイスフラン (=1,176,125 円) を納めた。IBBY の会費カテゴリーは、その支部の年間児童書出版点数を基準に決まる。

【2024 年現在 84 支部】

アイスランド、アイルランド、アゼルバイジャン、アフガニスタン、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、アルゼンチン、アルメニア、イギリス、イタリア、イラン、インド、インドネシア、ウガンダ、ウクライナ、ウズベキスタン、ウルグアイ、エクアドル、エジプト、エストニア、エチオピア、エルサルバドル、オーストラリア、オーストリア、オランダ、ガーナ、カナダ、カメルーン、韓国、カンボジア、キプロス、キューバ、ギリシャ、グアテマラ、クロアチア、コスタリカ、コロンビア、ジンバブエ、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、タイ、チェコ、中国、チリ、デンマーク、ドイツ、ドミニカ、トルコ、ナイジェリア、日本、ニュージーランド、ネパール、ノルウェー、ハイチ、パキスタン、パレスチナ、ハンガリー、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ブルガリア、ベトナム、ベネズエラ、ペルー、ベルギー、ポーランド、ボリビア、マレーシア、南アフリカ、メキシコ、モルドバ、モロッコ、モンゴル、ヨルダン、

ラオス、ラトビア、リトアニア、レバノン、ロシア

キ) IBBY と日本のスポンサーとの連携協力

連絡や交渉の中継や、会議の段取りをした。

IBBY 朝日国際児童図書普及賞	朝日新聞社
IBBY 山田基金	山田養蜂場

■ IBBY 朝日国際児童図書普及賞 (IBBY-Asahi Reading Promotion Award)

1986 年に東京で、アジアで初めての IBBY 世界大会が開催された際、朝日新聞社が IBBY の活動に賛同して創設した賞。図書普及や識字活動で成果をあげた団体に贈られる。

■ IBBY 山田基金 (IBBY-Yamada Fund)

スマトラ島沖地震 (2004) に対し山田養蜂場から寄せられた義援金を元に 2005 年に発足した基金。その後も支援は継続し、年間 8 ~ 10 の国と地域で、読書推進のための草の根ワークショップを行う。

ク) IBBY チルドレン・イン・クライシスへの協力

IBBY が呼びかける募金に適宜協力する。2023 年度はとくになし。

■ IBBY チルドレン・イン・クライシス (IBBY Children in Crisis)

自然災害や紛争などで危機に直面している子どもたちを本で支援する。IBBY 支部や関連団体が現地で行う支援活動を支えるための国を超えた募金活動。

3. 国際賞への推薦

ア) 2024 年 IBBY オナーリスト (隔年事業)

会員から推薦を募った後、2023 年 10 月に国内選考委員がオンラインで協議し、2024 年 IBBY オナーリスト (3 部門) を選定、IBBY に提出した。

文学作品部門	『夜叉神川』安東みきえ著 / 講談社
イラストレーション作品部門	『なきむしせいとく 沖繩戦にまきこまれた少年の物語』たじまゆきひこ作 / 童心社
翻訳作品部門	『見知らぬ友』宇野和美訳 / マルセル・ビルマヘル作 / 福音館書店

▽選考委員

奥山恵、さくまゆみこ、坂口美佳子、笹岡智子、汐崎順子、代田知子、神保和子、土居安子、野上暁、広松由希子、福本友美子、本田まゆみ

■ IBBY オナーリスト (IBBY Honour List)

IBBY が 1956 年から隔年で発行している児童書リスト。文学作品・イラストレーション作品・翻訳作品の 3 部門があり、IBBY に加盟する国と地域が、2 年に一度、ほかの国でも読んでほしいすぐれた子どもの本を選定する。

イ) 2025 年 IBBY バリアフリー児童図書セレクション (隔年事業)

会員から推薦を募った後、国内選考会を実施し、2025 年 IBBY バリアフリー児童図書に下記の 8 作品を推薦した。

■カテゴリ 1: 誰もがアクセスできる本
紙芝居『こんにちがはいっぱい!』 山本祐司脚本・絵 / 童心社
『たびにでよう』 降矢なな作 / 童心社
『はだしであるく』 村中李衣文 / 石川えりこ絵 / あすなろ書房
■カテゴリ 2: 障害がある子どもや人物を描いた本
『うちのおかあちゃん』 小手鞠るい作 / こしだミカ絵 / 偕成社
『オリヒメ: 人と人をつなぐ分身ロボット』 吉藤オリィ・加藤悦子文 / 子どもの未来社
『じゅげむの夏』 最上一平作 / マメイケダ絵 / 佼成出版社
『読書バリアフリー: 見つけよう! 自分にあった読書のカタチ』 読書工房編・著 / 国土社
マンガ『僕らには僕らの言葉がある』 詠里著 / KADOKAWA

▽国内選考委員

選考会	2024 年 3 月 20 日 出版クラブビル会議室 (東京都)
選考委員	さくまゆみこ、梨屋アリエ、林 左和子、村中李衣、山田 真

■ IBBY バリアフリー児童図書 (IBBY Outstanding Books for Young People with Disabilities)

IBBY は、障害のある子どもも読書の楽しさを享受できるよう、1985 年にノルウェーに IBBY 障害児図書資料センターを設立し、世界の工夫のつまったバリアフリー図書を収集している。現在は、センターをカナダのトロント市立ノースヨーク中央図書館に移し、隔年で加盟各国から推薦図書を募り、さらに約 40 冊を選定してカタログを発行している。「誰もがアクセスできる本」「障害がある子どもや人物を描いた本」の 2 つのカテゴリがある。

ウ) 2023 年ブラチスラバ世界絵本原画展 (隔年事業)

会員から推薦を募った後、国内選考会を実施し、2023 年ブラチスラバ世界絵本原画展に下記の 10 作家 (10 作品) を出展した。残念ながら 2023 年は日本の受賞はなかった。

あべ弘士『よあけ』(偕成社)
荒井良二『ゆきのげきじょう』(小学館)
石川えりこ『ほんやねこ』(講談社)
きくちちき『ともだちのいろ』(小峰書店)
齋藤 慎『おしりじまん』(福音館書店)
ザ・キャビンカンパニー『がっこうにまにあわない』(あかね書房)
junaida『EDNE』(白泉社)
たじまゆきひこ『なきむしせいとく 沖縄戦にまきこまれた少年の物語』(童心社)
堀川理万子『海のアトリエ』(偕成社)
桃山鈴子『へんしん』(福音館書店)

▽国内選考会

選考会	4 月 19 日 ブックハウスカフェ (東京都)
選考委員	広松由希子、増田喜昭、松方路子、松本育子、山本美希

■ ブラチスラバ世界絵本原画展 (BIB: Biennial of Illustrations Bratislava)

1967 年に始まった絵本原画の国際コンクール。スロバキアの首都ブラチスラバで隔年に開催される。ひとつの国から参加できる作家は 10 人まで (2023 年から)。国際審査により、グランプリ (1 名)、金のりんご賞 (5 名)、金牌 (5 名) が選ばれる。推薦できるのは、IBBY または UNESCO の支部。

エ) アストリッド・リンドグレーン記念文学賞 (毎年)

2024 年アストリッド・リンドグレーン記念文学賞に、前年に引き続き田島征三氏を推薦した。

■ アストリッド・リンドグレーン記念文学賞

スウェーデンの児童文学作家アストリッド・リンドグレーンの功績を記念し、スウェーデン政府が 2002 年に創設した国際賞。子どもの本の作り手、子どもの本の普及に貢献した人・団体を対象に贈られる。日本で推薦権を有するのは、JBBY と大阪国際児童文学振興財団、日本図書館協会、荒井良二氏 (2005 年受賞者)。

4. 派遣・出展事業

ア) ボローニャ・チルドレンズ・ブックフェア (イタリア)

2024年4月6～9日に開催されたボローニャ・チルドレンズ・ブックフェアへの出展(国際交流基金と協働)に向け、ブースデザインや各種イベント・配布物などの準備を行った。

【調査研究・情報提供事業】

1. JBBY賞

コロナにより中止していたJBBY賞授与式を3年ぶりに対面で実施した。

開催日：2024年3月17日	
会場：日比谷図書文化館大ホール(東京都)	
第8回JBBY賞受賞者	
作家の部門 (国際アンデルセン賞・作家賞候補)	岩瀬成子
画家の部門(国際アンデルセン賞・画家賞候補)	荒井良二
文学作品の部門(JBBYオナーリスト・文学作品部門選出)	『徳治郎とボク』 花形みつる 理論社
イラストレーション作品の部門(同・イラストレーション作品部門選出)	『つかまえた』 田島征三 偕成社
翻訳作品部門(同・翻訳作品部門選出)	『ケンタウロスのポロス』 長野徹 岩波書店
バリアフリー児童図書の部門(JBBYバリアフリー児童図書選定)	『りんごだんだん』 小川忠博 あすなろ書房 『クッキーづくりの仕事』 洋美さんの1日』 コトノネ編集部 埼玉福祉会
絵本原画の部門(BIB世界絵本原画展・金牌受賞)	『たまごのはなし』 しおたにまみこ ブロンズ新社

2. 図書展

ア) 世界の子どもの本展(8会場)

2022年IBBYオナーリストに選ばれた163冊(53の国と地域47言語)と2022年国際アンデルセン賞受賞者(作家賞：マリー＝オード・ミュライユ氏、画家賞：スージー・リー氏)の作品を8会場で展示した。関連イベントとして「世界の子どもの本はこんなに面白い！」(子どもゆめ基金助成活動)を実施した。(16頁参照)

▽巡回展

4/24～5/6	東京都	板橋区立中央図書館
5/15～6/30	東京都	出版クラブビル・クラブライブラリー
7/10～21	愛知県	至学館大学附属図書館
11/13～28	東京都	田園調布学園中等部・高等部
12/4～17	福岡県	福岡市早良南図書館
2024/1/13～28	群馬県	太田市美術館・図書館
2/20～28	東京都	国際交流基金
3/8～9	東京都	童心社(JBBY子どもの本の日フェスティバル)
日本の2022年IBBYオナーリスト	『徳治郎とボク』(花形みつる作/理論社)、『つかまえた』(田島征三作/偕成社)、『ケンタウロスのポロス』(長野徹訳/ロベルト・ピウミーニ作/岩波書店)	

3. ブックリストの作成

ア) 「世界のバリアフリー児童図書：IBBYによる2023年選定図書」

IBBY発行の「2023 IBBY Selection of Outstanding Books for Young People with Disabilities」の日本語版を発行した。IBBYが選定した40冊(22カ国15言語)を紹介。翻訳は、会員の各言語専門家に依頼。

AB判/28頁/4色	
発行日	2024年3月1日

翻訳協力	愛甲恵子、王玉、大作道子、片桐早織、神谷丹路、河野万里子、杉本詠美、南平かおり、野坂悦子、村岡直子、よこのな、横山和江、李麗、若松宣子、脇本美穂
編集協力	板谷ひさ子、植村志保理、おおつかのりこ、攪上久子、汐崎順子
デザイン・レイアウト	山崎美紀

1) 「Japanese Children's Books 2023」

海外に紹介したい日本の子どもの本の英文ブックガイド。2021年9月から2022年8月に刊行された本の中から、絵本・読みもの・ノンフィクションのカテゴリーで合計88冊を紹介。巻末には、日本の国際アンデルセン賞受賞者/候補者の紹介、歴代IBBYオナーリスト作品、「おすすめ！世界の子どもの本2022」に選ばれた翻訳児童書のリストを掲載。

AB判 / 28ページ / 4色	
発行日	2023年12月1日
選書・執筆	奥山恵、坂口美佳子、さくまゆみこ、笹岡智子、汐崎順子、土居安子、野上暁
表紙画	しおたにまみこ
翻訳	宇田川エイヴリ、竹本ジニー、平野キャシー
特別協賛	日本児童教育振興財団

▽掲載図書 (88冊・掲載順)

■ 絵本	
『えんどうまめばあさんとそらまめじいさんのいそがしい毎日』福音館書店	『おもち』福音館書店
『川まつりの夜』フレール館	『た』佼成出版社
『ともだちのいろ』小峰書店	『なみのいちにち』ほるぶ出版
『わたしがテピングー』偕成社	『へびながすぎる』こぐま社
『まっくらあそびしようよ!』ほるぶ出版	『ゆかしたのワニ』福音館書店
『りすとかえるのあめのたび』BL出版	『うちのおかあちゃん』偕成社

『がっこうにまにあわない』あかね書房	『クリシュナのつるぎ』BL出版
『さかなくん』偕成社	『ねこまたごよみ』ポプラ社
『ノウサギの家にいるのはだれだ?』玉川大学出版部	『はっぴーなっつ』プロンズ新社
『まっくろ』講談社	『よあけ』偕成社
『なきむしせいとく』童心社	『はだしであるく』あすなる書房
『北守将軍と三人兄弟の医者』三起商行	
■ 読みもの	
『かせいじんのおねがい』童心社	『草のふえをならしたら』福音館書店
『ひろしまの満月』小峰書店	『やまの動物病院』徳間書店
『ないしょの五日間』偕成社	『ぼくのちいばっぱ』ゴブリン書房
『ワニのガルド』偕成社	『風の神送れよ』小峰書店
『金曜日のヤマアラシ』アリス館	『ケケと半分魔女』福音館書店
『シャンシャン、夏だより』講談社	『18枚のポートレート』理論社
『空と大地に出会う夏』くもん出版	『ソロ沼のものがたり』岩波書店
『たぶんみんなは知らないこと』講談社	『ちいさな宇宙の扉のまいて』童心社
『病院図書館の青と空』講談社	『いのちの木のあるところ』福音館書店
『ガラスの魚』理論社	『笹森くんのスカート』講談社
『少年時代』理論社	『スクラッチ』あかね書房
『スネークダンス』小学館	『セカイを科学せよ!』講談社
『ソノリティはじまりのうた』KADOKAWA	『そらのことばが降ってくる』ポプラ社
『博物館の少女』偕成社	『#マイネーム』さ・え・ら書房
『ポーチとノート』講談社	『恋愛問題は止まらない』小学館
■ ノンフィクション	
『もりはみている』福音館書店	『アリのかぞく』福音館書店

『おしりじまん』福音館書店	『かみなり』岩崎書店
『こうもり』偕成社	『ひがたはたからばこ』徳間書店
『あめができるまで』岩崎書店	『海峡のまちのハリル』三輪舎
『かみなり』ポプラ社	『若冲の絵本み～つけた!』小学館
『ホホジロザメ』福音館書店	『エゾシマリス』文一総合出版
『阿波根昌鴻』あかね書房	『オオムラサキと里山の一年』小学館
『お山のライチョウ』偕成社	『草はらをのぞいてみればカヤネズミ』小学館
『雑木林の20年』偕成社	『伝え守るアイヌ三世代の物語』少年写真新聞社
『ハタハタ』あかね書房	『はっこう』あすなろ書房
『ブラックホールってなんだろう?』福音館書店	『和ろうそくは、つなぐ』アリス館
『核兵器禁止条約ってなんだろう?』旬報社	『エレキテルの謎を解け』岩崎書店
『小泉文夫』ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス	『クマが出た! 助けてベアドッグ』岩崎書店
『生物がすむ果てはどこだ?』くもん出版	『ネットトラブルをさげよう』偕成社
『人と動物の日本史図鑑』少年写真新聞社	『「ヒロシマ消えたかぞく」のあしあと』ポプラ社
『「慰安婦」問題ってなんだろう?』平凡社	『俳句のきた道』岩波書店
『女子サッカー選手です。そして彼女がいます』偕成社	『ラジオ保健室』リトルモア
『笑いの力、言葉の力』理論社	

ウ)「おすすめ! 日本の子どもの本 2023」

上記(イ)「Japanese Children's Books 2023」の日本語版を発行。巻末には、日本の国際アンデルセン賞受賞者/候補者、歴代IBBYオナーリスト一覧を掲載。

AB判/24ページ/4色	
発行日	2023年6月

選書・執筆	奥山恵、坂口美佳子、さくまゆみこ、笹岡智子、汐崎順子、土居安子、野上暁
表紙画	しおたにまみこ
編集協力	梓澤設夫、園田千絵
特別協賛	日本児童教育振興財団

エ)「おすすめ! 世界の子どもの本 2023」

日本の子どもたちに読んでもらいたい翻訳児童書のブックガイド。2022年1月から12月に刊行された本の中から、絵本・読みもの・ノンフィクションの категорияで合計69冊を紹介。巻末には、翻訳家のおおつかのりこ氏・神谷丹路氏のエッセイ、河野万里子氏による国際アンデルセン賞受賞作家マリー・オー・ミュライユ氏の特集を掲載。2023年6月に刊行した「おすすめ! 日本の子どもの本 2023」とともに全国の公共図書館に配布した。

AB判/24ページ/4色	
発行日	2023年12月
選書・執筆	坂口美佳子、さくまゆみこ、代田知子、神保和子、土居安子、福本友美子、本田まゆみ
表紙画	しおたにまみこ
編集進行	高野直子、堀内まゆみ
校閲	梓澤設夫、園田千絵
デザイン・レイアウト	山崎美紀
特別協賛	日本児童教育振興財団

▽掲載図書(69冊・掲載順)

■ 絵本	
『あずきがゆばあさんととら』韓国/偕成社	『おとうとがおおきくなったら』オーストラリア/徳間書店
『コールテンくんのポケット』アメリカ/好学社	『すきなものがちがうけど』アメリカ/ほるぷ出版
『たびするてんとうむし』フランス/岩波書店	『ナイチンゲールのうた』イギリス/BL出版
『なかよしの犬はどこ?』イギリス/徳間書店	『2ひきのカエル』イギリス/徳間書店

『まよなかのゆうえんち』 アメリカ / BL 出版	『リゼッテウそをつきに いく』 フランス / クレ オンハウス
『リッランとねこ』 スウ ェーデン / 徳間書店	『アグネスさんとわたし』 カナダ / 岩波書店
『カピバラがやってきた』 スペイン / 岩崎書店	『きょうはふっくらにく まんのみ』 アメリカ / 偕 成社
『じぶんのきもちみんな のきもち』 カナダ / あか ね書房	『スーツケース』 イギリ ス / 化学同人
『カイマンのクロ』 ベネ ズエラ / 福音館書店	『ブラディとトマ』 ベル ギー / BL 出版
『へそまがりねこマック ス』 アメリカ / 光村教育 図書	『よるのあいだに…』 イ ギリス / BL 出版
『わたしのかぞくみんな のかぞく』 カナダ / アメ リカ / あかね書房	『ことばとふたり』 イギ リス / 岩波書店
『ニッキーとヴィエラ』 アメリカ / BL 出版	『モナのとり』 フランス / 新日本出版社
『森のなかの小さなおう ち』 アメリカ / 工学図書	『わたしとあなたのもの がたり』 アメリカ / 光村 教育図書
■ 読みのもの	
『かあさんうさぎと金の くつ』 アメリカ / 徳間書 店	『くまのピエール』 デン マーク / こぐま社
『おもちゃ屋のねこ』 イ ギリス / 徳間書店	『紫禁城の秘密のともだ ち1』 中国 / 偕成社
『本おじさんのまちかど 図書館』 カナダ / フレー ベル館	『ラビットホッピング!』 スウェーデン / 理論社
『アーマのうそ』 アメリ カ / 文溪堂	『明日の国』 アメリカ / 静山社
『アップステージ』 アメ リカ / 評論社	『おとなってこまっちゃ う』 メキシコ / 偕成社
『ガリバーのむすこ』 イ ギリス / 小学館	『彼の名はウォルター』 オーストラリア / あすな る書房
『5 番レーン』 韓国 / 鈴木 出版	『シリアからきたパレリ ーナ』 イギリス / 偕成社
『長い長い夜』 韓国 / 小 学館	『フードバンクどろぼう をつかまえろ!』 イギリ ス / あすなる書房
『吹雪の中の列車』 クロ アチア / 岩波書店	『魔女だったかもしれな いわたし』 アメリカ / PHP 研究所

『マンチキンの夏』 アメ リカ / 小学館	『ロドリゴ・ラウバイン と従者クニルプス』 ドイ ツ / 小学館
『ロンドン・アイの謎』 イギリス / 東京創元社	『わたしのアメリカンド リーム』 アメリカ / 講談 社
『わたしはスペクトラム』 アメリカ / 小学館	『かわいい子ランキング』 アメリカ / ほるぷ出版
『消えたソントクホテル の支配人』 韓国 / 影書房	『住所、不定』 カナダ / 岩波書店
『小さな手』 イギリス / アメリカ / 岩波書店	『ぼくたちのスープ運動』 イギリス / 評論社
『目で見ることばで話を させて』 アメリカ / 岩波 書店	
■ ノンフィクション	
『ちいさいフクロウとク リスマスツリー』 アメリ カ / 鈴木出版	『手のしくみ』 オースト ラリア / あすなる書房
『アマゾン川』 イギリス / 徳間書店	『国境』 韓国 / 文研出版
『レイチェル・カーソン 物語』 アメリカ / 西村書 店	『難民と祖国』 イギリス / 文研出版
『もし、水がなくなると どうなるの?』 ドイツ / 西村書店	『チャンス』 アメリカ / 小学館
『バンドゥーラ』 イギリ ス / 評論社	『ホロコーストを生きぬ いた6人の子どもたち』 イギリス / 合同出版
『わたしは反対!』 アメ リカ / 子どもの未来社	『イノチノウガワ』 オラ ンダ / 実業之日本社
『エーリッヒ・ケストナ ー』 ドイツ / 偕成社	『カメラにうつらなかつ た真実』 アメリカ / 徳間 書店

4. 講座・研究会

ア) 国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座

国際アンデルセン賞や世界の子どもの本をテーマにした講座を4回実施した。一部「子どもゆめ基金」助成活動。参加者のべ527人。

5/13 (土) 対面 (出版 クラブピ ル)	オセアニアの児童文学 から読み解く多文化と 多様性：パトリシア・ ライトソン、ドロシー・ バトラー、ロジャー・ パルバースなど	講師： 百々佑利子
----------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------	--------------

7/23 (日) 対面 (出版 クラブピ ル)	台湾の子どもの本の歴史と絵本の現在	講師： 游珮芸
8/27 (日) オンライン	現代絵本のパイオニア ～堀内誠一の生涯と作品	講師： 林綾野 協力：堀内 事務所
9/18 (月祝) オンライン と対面 (出 版クラブピ ル)	美しい光と影を描き出 すシドニー・スミスの 絵本表現～『ぼくは川 のように話す』を通し て作者が語る	講師： シドニー・ スミス 通訳：前沢 明枝 協力：板橋 区立美術館・ 偕成社

イ) JBBY 新・編集者講座第9期

若手児童書編集者にとっての学びの場、子どもの本の未来を創る次世代の交流の場となる講座を3回実施した。今年度の全体テーマは「いま、子どもの本は何を伝えるか?」。参加者のべ455人。

10/16 (月) 対面 (専修大 学神田キャン パス) とオン ライン	デジタルでひらかれる 子どもの本の将来	講師： 植村八潮
11/17 (金) 対面 (ブック ハウスカフェ) とオンライン	タラブックス：社会 を変えるしなやかな 本づくり	講師： ギータ・ウ ォルフ 聞き手： 広松由希子 通訳： 中井はるの
2024/2/7 (水) オンライン	作り手と読者をつな ぐ子どもと本の居場 所づくり	講師： 増田喜昭

ウ) 第6回 JBBY 子どもの本の翻訳フォーラム

子どもたちには、異なる視点で描かれた海外の文学も必要だという考えから、翻訳児童書に関するフォーラムを毎年開催。2023年度は、ノンフィクションの子どもの本をテーマにオンラインで実施した。参加者247人。

2024/1/21 (日) オンライン	ノンフィク ションの翻 訳を考える	講師： 小川真理子、さくま ゆみこ、竹内薫、原 田勝、藤田千枝 コーディネーター： 堀内まゆみ
---------------------------	-------------------------	----------------------------------------------------------------

エ) JBBY 希望プロジェクト学びの会

国内の困難を抱える子どもたちを支援するプロジェクト「JBBY 希望プロジェクト」の活動を、より有意義なものにするため、子どもたちが直面している困難の実情を学ぶ学習会をオンラインで3回実施した。参加者のべ267人。

10/27 (金) オンライン	バリア (障害) を超 える子どもの本ー IBBY バリアフリー 児童図書について	講師： 攪上久子
11/28 (火) オンライン	いじめってなんだろ う? どうして起こ る? どうしたらな くなる?	講師： 須永祐慈
2024/2/14 (水) オン ライン	生きる力をはぐくむ 居場所づくり～不登 校やひきこもりの子 どもたちによりそう	講師： 西野博之

オ) JBBY トークイベント「世界の子どもの本はこんなに面白い!」

出版クラブビル・クラブライブラリーでの「世界の子どもの本展」開催にともない、選定図書について、翻訳者・研究者等がおすすすめポイントを語るリレートークを実施した。子どもゆめ基金助成活動。参加者96人。

6/9 (金) 対面 (出版 クラブビル)	講師： 宇野和美、大作道子、おおつかのり こ、片桐早織、神谷丹路、河野万里子、 櫻井映子、柴なほ、武富博子、南平 かおり、野坂悦子、よこのなな、若 松宣子
-----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------

5. 会報の発行

会報「Book & Bread」を4回発行した。

155号 2023/6	表紙：松井エイコ／巻頭リポート： 田村彩 (国際交流基金)／巻末エッ セイ：小松原宏子
156号 2023/9	表紙：石川えりこ／巻頭リポート： JBBY 新旧会長対談 さくまゆみこ×宇 野和美／巻末エッセイ：にしがきよ うこ
157号 2023/12	表紙：堀川理万子／インタビュー： 朽木祥／巻末エッセイ：山本美希

158号 2024/3	表紙：国際子どもの本の日ポスター (降矢なな) / インタビュー：角野栄子 / 巻末エッセイ：押川理佐
仕様	B5版、36頁、表紙カラー、本文モノクロ 印刷：図書印刷株式会社
広告協力	岩波書店、偕成社、共同印刷、くもん出版、講談社、至光社、出版文化産業振興財団、小学館、大日本印刷、東京印書館、図書印刷、凸版印刷、童心社、福音館書店
編集委員	喜入今日子(編集長)、太田美千子、小方桂子、高野直子、田中明子、堤嘉代、松岡由紀
デザイン・レイアウト	山崎美紀

X	@JBBYpi	フォロワー 4782 (+529)
X (英文専用)	@JBBYpi_en	フォロワー 18
Instagram	@jbbby_kodomonohon	フォロワー 2218 (+424)
Peatix	https://jbbby.peatix.com	フォロワー 3084 (+716)
YouTube	https://youtube.com/c/JBBYkodomonohon	登録者数 363 (+52)

■ ホームページの会員専用サイトのパスワード、ならびに会員オンラインサロンの合言葉が不明な場合は、JBBY事務局まで。

6. ウェブサイトなどによる広報活動

ホームページやSNSで情報を発信した。JBBY YouTubeチャンネルでは、会員翻訳家が、「IBBY オナーリスト」や「JBBY おすすめ！世界の子どもの本」に選定された本を紹介する動画を配信。各国IBBYのニュースを日本に、日本のニュースを海外に発信する情報発信委員会がたちあがり、英文Xも新設した。ホームページの会員専用ページ(要パスワード)では、会報のバックナンバー(pdf)、国際アンデルセン賞の推薦資料、海外からのグリーティングカード等を閲覧できるほか、講演会等の会員割引コードも提示。

ホームページ	https://jbbby.org/	
ホームページ(英文ニュース)	https://jbbby.org/category/news/jbbby-news-in-english	
ホームページ(会員専用ページ)	https://jbbby.org/password-2	
Facebook	@JBBYpi	フォロワー 2989 (+247)
FB オンラインサロン「Book & Bread Cafe」会員専用		参加会員 133 (+17)

7. 協力事業(他団体との連携・協力)

ア) 子どもの読書推進会議

民間の読書関連団体が結成した「子どもの読書推進会議」構成団体として協力した。野上暁副会長が副代表を務める。

構成団体(順不同)	読書推進運動協議会、全国学校図書館協議会、日本雑誌協会、日本書店商業組合連合会、出版文化産業振興財団(JPIC)、日本児童出版美術家連盟(童美連)、日本図書館協会、日本書籍出版協会、日本出版取次協会、日本児童図書出版協会、日本児童文芸家協会、日本児童文学者協会、JBBY
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

イ) ブラチスラバ世界絵本原画展(国内巡回展)

2021年BIBの受賞作品、日本から出展作品、韓国の特集を紹介する国内巡回展「ブラチスラバ世界絵本原画展・絵本でひらくアジアの扉」に協力した。(主催：各開催館ならびに朝日新聞社)

4/15～6/4	栃木県	足利市立美術館
7/8～8/31	埼玉県	うらわ美術館
9/9～11/5	新潟県	新潟市新津美術館

▽日本の出展作家と作品

あべ弘士『うみどりの島』
荒井真紀『まどのむこうのくだものなあに?』

荒井良二『こどもたちはまっている』
飯野和好『かふんとみつ』『火あやかし』
うえだまこと『りすとかえるとかぜのうた』
きくちちき『おひさまわらった』
しおたにまみこ『たまごのはなし』*金牌
スズキコージ『チンチラカと大男』
田島征三『つかまえた』
たじまゆきひこ『せきれい丸』
館野鴻『がろあむし』
中野真典『ミツ』
降矢なな『どうぶつABC えほん』『ヴォドニークの水の館』
松本大洋『こんとん』
ミロコマチコ『ドクルジン』

ウ) 山田養蜂場「ミツバチの絵本コンクール」

植村志保理事長と喜入今日子理事が、第7回ミツバチの絵本コンクールに審査員として協力した。

エ) 群馬県太田市美術館・図書館（群馬県）

事務局長が、運営委員として協力した。

オ) 後援事業

世界	ミツバチの一枚画コンクール	山田養蜂場
全国	JPIC 読書アドバイザー養成講座	出版文化産業振興財団 (JPIC)
全国	日産 童話と絵本のグランプリ	大阪国際児童文学振興財団 / 日産自動車
全国	アンデルセンのメルヘン大賞	アンデルセン・パン生活文化研究所
全国	いたばし国際絵本翻訳大賞	板橋区ほか
全国	ミツバチの絵本コンクール	山田養蜂場
全国	全国学校図書館研究大会	学校図書館協議会

全国	日本子どもの本研究会全国大会	日本子どもの本研究会
全国	創作童話・絵本・デジタル絵本コンテスト	幼年教育・子育て支援推進機構
北海道	けんぶち絵本の里大賞・けんぶち絵本原画展	剣淵町絵本の館
富山県	とやま元気ワールド・絵本ランド 2023	富山新聞社ほか
長野県	アンデルセンのことばと絵	軽井沢絵本の森美術館
長野県	童話のなかのアンデルセン	軽井沢絵本の森美術館
長野県	アメリカ絵本の魅力	軽井沢絵本の森美術館
長野県	マザーグースを楽しむ	軽井沢絵本の森美術館
長野県	いわさきちひろぼつご 50ねん こどものみなさまへ あ・そ・ぼ	安曇野ちひろ美術館
長野県 東京都	ちひろ美術館セレクション 2010 → 2021 日本のお絵本展	安曇野ちひろ美術館 / ちひろ美術館東京
長野県 東京都	没後50年初山滋展 見果てぬ夢	安曇野ちひろ美術館 / ちひろ美術館東京
東京都	いわさきちひろぼつご 50ねん こどものみなさまへ あれこれいのち	ちひろ美術館東京
東京都	上野の森親子ブックフェスタ	子どもの読書推進会議ほか
東京都	谷内こうた展一風のゆくえ	ちひろ美術館・東京
東京都	神沢利子さん生誕100年記念展「北と星といのちと〜同じうたをうたい続けて」	三鷹市芸術文化センター
東京都	ポローニャ・ブックフェア in いたばし	板橋区
東京都	あの日の言葉を未来へ「3・11」と向き合う	日本ペンクラブ・子どもの本委員会
群馬県	あふれる、うごめく、のめりこむ。	太田市美術館・図書館
神奈川県	「おまけ」と「ふろく」展 子どもの夢の小宇宙	県立神奈川県近代文学館

【その他の事業】

1. イタリア・ポローニャ国際絵本原画展

ポローニャ・ブックフェアで開催される「イラストレーター展」の入選作品を紹介する国内巡回展を3会場で実施した。JBBYは巡回事務局を務めた。

6/24～8/13	東京都	板橋区立美術館
8/19～10/9	兵庫県	西宮市大谷記念美術館
11/10～12/17	石川県	石川県七尾美術館

2. JBBY 希望プロジェクト

IBBY チルドレン・イン・クライシスの精神に則り、日本国内の困難な状況にある子どもたちに本を通じた支援活動を行った。▷学びの会については、16頁(エ)参照。

ア) 支援活動

(1) 野馬追文庫

福島県南相馬市の児童施設(小高交流センター、小高認定こども園、聖愛こども園、聖愛ちひろば園)に季節の本を3回送付した。

■ 野馬追文庫

2011年東日本大震災の後、南相馬市の仮設住宅に毎月本を送るプロジェクトからスタート。

(2) 支援活動

「砧子ども食堂 そら豆」へ、「食育」と「平和」をテーマにした図書を寄贈。

(3) 避難してきた子どもたちへ本のプレゼント

日本に避難している外国の子どもたちに、文字がなくてもわかる絵本(翻訳書合)をプレゼントした。ウクライナから来た子どもには、Ukrainian Book Instituteから提供されたデータでウクライナ語の本を簡易製本して届けた。また布絵本製作ボランティア団体の協力を得て、布の遊具等も送った。2023年度は7つの団体と家族に送付。

協力	偕成社、講談社、こぐま社、小学館、BL出版、評論社、福音館書店、富山房、文研出版、ほるぷ出版、イオンリテール株式会社、ぐるーぷ・もこもこ
----	----------------------------------------------------------------------

イ) あしたの本だな

「あしたの本だな」(少年院や少年鑑別所からの希望を受けて選書作成したブックリスト)の掲載本を取りそろえた東日本少年矯正医療・教育センターに、実行委員会有志が5回訪問。図書コーナー作りに協力した。

ウ) 募金活動

希望プロジェクトの支援活動に限定した寄付を募った。2023年度は、イオンリテール株式会社からいただいたチャリティ売上の一部1,132,429円を含む、総額1,594,384円を集めた。

■ 募金口座

ゆうちょ銀行 〇一八(ゼロイチハチ)支店
普通口座 2477506
名義:ニホンコクサイジドウトシヨヒョウギカイ

■ JBBY 希望プロジェクト

東日本大震災後、子どもの本に関わるいくつかの団体とともに立ち上げた「子どもたちへ〈あしたの本〉プロジェクト;2011-2016」で培った経験や反省をいかし、日本国内のさまざまな困難を抱える子どもたちに目をむけ、本の力で希望ある未来を届けようと、JBBYが2017年に発足。

3. フォーラム・子どもたちの未来のために

構成団体のひとつとして、「フォーラム・子どもたちの未来のために」に参画した。オンラインの学習会/講演会を2回実施。フォーラムのサイトからアーカイブを視聴可能。

<https://www.f-kodomotachinomirai.com/blog>

6/4(日) 出版クラ ブビル	講演&トークイベント「ウクライナ戦争下で〈非戦〉について考える」	講師: 志葉玲
-----------------------	----------------------------------	------------

■ フォーラム・子どもたちの未来のために

「特定秘密保護法」や一連の「安保法案」が子どもたちの未来を危うくするものと受け止め、子どもの本に携わる出版社、作家、画家、翻訳家、研究者など各方面の団体が危機感を共有して2013年に結成した連絡組織。会員への強制力はなく、勉強会を実施することで問題意識の拡大を図る。
構成団体:絵本学会、絵本作家・画家の会、童話著作者の会、日本児童図書出版協会、日本児童文学者協会、日本ペンクラブ「子どもの本」委員会、JBBY。 <https://www.f-kodomotachinomirai.com/>

4. 会員主導による自主勉強会

ア) ノンフィクションの子どもの本を考える会

2018年にスタートした会員活動。オンラインの読書会を3回実施した。参加者のべ71人。

5/9 (火)	テーマ：山と川にかんする子どもの本を考える
8/29 (火)	テーマ：多様性について子どもに伝えるノンフィクションの本
2024/1/11 (木)	テーマ：わたしの一押し ノンフィクションの子どもの本から (2020年から2023年刊行)

イ) 絵本部

2022年度に「絵本部」を発足。現地集合・解散の遠足を2回決行。

6/16 (金)	市原湖畔美術館 (千葉県) 「末盛千枝子と舟越家の人々 絵本が生まれるとき」
12/19 (火)	横須賀美術館 (神奈川県) 「となりの国の絵本：躍動する韓国イラストレーションの世界」

ウ) おしゃべり本の子の会

会員交流と自由な発言の場の提供を目的に2023年度に発足。トライアル(0回)と第1回を開催した。

9/11 (月)	館野さん、今度何作ったんだおい!
2024/2/26 (月)	なんでこうなの子どもの本?

エ) Youtube チャンネルで本の紹介を配信

「おすすめ!世界の子どもの本」に選定された会員翻訳家が、JBBYの公式YouTubeチャンネルで本の紹介+座談会を配信した。

<https://www.youtube.com/@JBBYkodomonohon>

5. 物販

なし

【組織・その他】

1. 総会・理事会等の開催

理事会をオンラインで10回実施した。総会は事前に会員から書面議決書と委任状を集め、役員だけが出席してオンラインで実施。報告会と親睦会を行った。

4/20 (木)	第1回理事会	出席17名 役員改選の件/事業計画・予算案の件/国際子どもの本の日ポスター制作の件/50周年の件/IBBY関連 ほか
5/8 (木)	第2回理事会	出席17名 役員改選の件/事業計画・予算案の件/50周年の件 ほか
5/25 (木)	第3回理事会	出席17名 役員改選の件/総会の件/50周年の件/アストリッド・リンドグリーン記念文学賞の件 ほか
6/23 (金)	第53回定時総会	出席22名 委任状134名 書面議決書188個 2022年度事業報告の件/2022年度決算報告の件/2023年事業計画と予算書の件/役員選任の件
6/23 (金)	第4回理事会	出席19名 代表理事(会長)の選任
6/29 (木)	第5回理事会	出席16名 新理事会発足と組織・担当の件
7/27 (木)	第6回理事会	出席18名 SNSの件/各委員会報告
9/7 (木)	第7回理事会	出席15名 50周年の件/IBBY臨時総会の件/IBBYオーナーリスト選定の件/次年度助成金申請の件 ほか
11/7 (火)	第8回理事会	出席18名 50周年の件/子どもゆめ基金申請の件/IBBY臨時総会の件/IBBYアジア・オセアニア大会の件/子どもの本の日フェスティバルの件 ほか

2024/1/23 (火)	第9回 理事会	出席 16 名 50 周年の件 (スージー・ リー招聘・記者会見・記 念展示ほか) / IBBY バリ アフリー児童図書推薦の 件 / IBBY 世界大会の件 / 子どもの本の日フェステ ィバルの件 / ポローニャ 出展の件 / 国際アンデル セン賞ショートリスト発 表 ほか
3/25 (月)	第10回 理事会	出席 18 名 50 周年の件 / 総会の件 / ブックバード通信係の件 / ポローニャ出展の件 ほか

2. 役員

■ 2021・22 年度の役員 (～ 2023 年 6 月まで)

会長	さくまゆみこ (翻訳家)
副会長	代田知子 (三芳町立図書館運営相談員、日本子どもの本研究会会長)
副会長	野上暁 (日本ペンクラブ常務理事、東京純心大学客員教授)
副会長	広松由希子 (絵本の評論、文、翻訳、展示企画)
専務理事	土居安子 (大阪国際児童文学振興財団総括専門員)
理事	おおつかのりこ (翻訳家)
理事	喜入今日子 (小学館第二児童学習局プロデューサー兼児童創作室長)
理事	木村有子 (翻訳家)
理事	佐藤まどか (作家)
理事	汐崎順子 (研究者)
理事	神保和子 (家庭文庫主宰)
理事	竹迫祐子 (いわさきちひろ記念事業団理事)
理事	中野怜奈 (翻訳家、ミュンヘン国際児童図書館日本担当)
理事	廣松英樹 (福音館書店専務取締役)
理事	藤田隆広 (偕成社編集部)
理事	吉田幸司 (講談社第六事業局新事業チーム担当部長兼国際ライツ事業部担当部長)

理事	吉野万理子 (作家)
監事	赤石忍 (日本児童図書出版協会事務局長)
監事	阿部薫 (元講談社編集者)
監事	柏原順太 (元小学館編集者)

■ 2023・24 年度の役員 (2023 年 6 月から 2 年間)

会長	宇野和美 (翻訳家)
副会長	代田知子 (三芳町立図書館運営相談員、日本子どもの本研究会会長)
副会長	野上暁 (日本ペンクラブ常務理事)
副会長	広松由希子 (絵本の評論、文、翻訳、展示企画)
専務理事	土居安子 (大阪国際児童文学振興財団総括専門員)
理事	植村志保理 (西村書店編集者)
理事	太田美千子 (講談社第三事業本部長)
理事	おおつかのりこ (翻訳家)
理事	喜入今日子 (小学館第二児童学習局プロデューサー兼児童創作室長)
理事	木村有子 (翻訳家)
理事	さくまゆみこ (翻訳家)
理事	笹岡智子 (東京子ども図書館)
理事	佐藤まどか (作家)
理事	汐崎順子 (研究者)
理事	高野直子 (編集者、海外出版)
理事	竹迫祐子 (いわさきちひろ記念事業団理事)
理事	館野鴻 (画家、絵本作家)
理事	中野怜奈 (翻訳家、ミュンヘン国際児童図書館日本担当)
理事	堀内まゆみ (編集者)
理事	吉野万理子 (作家)
監事	赤石忍 (日本児童図書出版協会事務局長)
監事	阿部薫 (元講談社編集者)
監事	柏原順太 (元小学館編集者)

3. 理事会委員会図 (2023-24 年度)

三役 会長 宇野 副会長 代田 副会長 野上 副会長 広松 専務理事 土居	企画事業委員会 委員長 野上	世界の子どもの本展 (笹岡) / バリアフリー児童図書展 (汐崎) / ポローニャ国際絵本 原画展 (広松) / 新・編集者講座 (堀内) / 国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講 座 (中野) / 希望プロジェクト・学びの会 (笹岡) / 翻訳フォーラム (おおつか) / フ ォーラム・子どもたちの未来のために (野上)
	国際委員会 委員長 広松	IBBY・IBBY 支部との連携 (宇野) / IBBY 世界大会・地域大会 (高野) / 国際子どもの 本の日 (笹岡・汐崎・喜入) / 国際賞 (中野) / 日中韓プロジェクト (堀内) / 情報発信 (さ くま)
	渉外・支援委員会 委員長 代田	希望プロジェクト (代田) / 山田養蜂場 (喜入) / 子どもの読書推進会議 (野上)
事務局 事務局長 鳥塚 齊藤 八木	編集出版委員会 委員長 土居	会報 (喜入) / おすすめブックガイド (高野・堀内) / IBBY カタログ日本語版 (植村)
	広報委員会 委員長 宇野	ホームページ (太田) / オンラインサロン (吉野) / X (吉野) / facebook (佐藤) / Instagram (堀内) / YouTube (おおつか)
	会員活動委員会 委員長 おおつ か	ノンフィクションの子どもの本を考える会 (おおつか) / 絵本部 (広松) / 本の虫の会 (佐 藤) / ボランティア (木村)
	財務・労務委員会 委員長 竹迫	会計全般 (竹迫) / ファンドレイジング (竹迫) / 労務 (野上)
	50 周年記念事業 委員長 宇野	記念講演会 (土居) / 連続講座 (中野) / 記念展示 (広松) / 祝賀会 (代田) / 50 年史 (野 上) / 記念出版 (さくま) / ファンドレイジング (竹迫) / 広報 (三役)

4. 2023 年度プロジェクトに関わってくださった会員 (スタッフ、講師、五十音順)

IBBY 支部 としての活 動 / 国際賞 への推薦	IBBY との連携	宇野和美、太田美千子、笹岡智子、佐藤まどか、代田知子、高野直子、竹迫祐子、土居安 子、中野怜奈、野上暁、広松由希子、松岡希代子
	2024 年国際子どもの本の日ポス ター	角野栄子、喜入今日子、佐藤まどか、土居安子、中野怜奈、広松由希子、降矢なな、吉田 幸司、吉野万理子、大日本印刷、日産自動車、山田養蜂場
	国際講演会 / 国際子どもの本の 日イベント	安蒜由利子、市川雅子、上地史人、植村志保理、宇野和美、江崎肇、太田美千子、おおつ かのりこ、小方桂子、攪上久子、神谷丹路、川本みつこ、喜入今日子、きのとりこ、小松 原宏子、小宮山いつか、今野美紀、坂口美佳子、さくまゆみこ、笹岡智子、汐崎順子、代 田知子、神保和子、申明浩、杉谷小百合、高野直子、瀧澤有希子、竹迫祐子、館野鴻、土 居安子、中野怜奈、南平かおり、野上暁、広松由希子、堀内まゆみ、前沢明枝、正谷優貴、 松岡礼子、宮崎詞美、矢能千秋、山崎美紀、山下和子、山本悦子、横山和江、吉田幸司、 吉野万理子
	日中韓共同プロジェクト	王玉、奥山恵、神谷丹路、坂口美佳子、さくまゆみこ、笹岡智子、汐崎順子、竹迫祐子、 土居安子、野上暁、広松由希子、藤田隆広、福本友美子、堀内まゆみ、李麗
	推薦事業：IBBY オナーリスト	奥山恵、さくまゆみこ、坂口美佳子、笹岡智子、汐崎順子、代田知子、神保和子、土居安 子、野上暁、広松由希子、福本友美子、本田まゆみ
	推薦事業：IBBY バリアフリー 児童図書	攪上久子、さくまゆみこ、梨屋アリエ、林左和子、村中李衣、山田真
	推薦事業：プラチスラバ世界絵 本原画展	広松由希子、増田喜昭、松方路子、松本育子、山本美希
	ポローニャブックフェア出展準備	角野栄子、笹岡智子、高木佳子、高野直子、広松由希子、降矢なな、松岡希代子、森泉文美
JBBY 賞	岩瀬成子、宇野和美、攪上久子、さくまゆみこ、代田知子、武富博子、田島征三、土居安子、野上暁、広松由希子、若松宣子、 あすなろ書房、岩波書店、偕成社、ブロンズ新社、理論社	
図書展	世界の子どもの本展	安蒜由利子、笹岡智子、汐崎順子、二井依里奈、野坂悦子、平井富久子、松岡礼子、柳沼志津子

ブックリストの作成	IBBY カタログ日本語版（パリアフリー児童図書）	愛甲恵子、板谷ひさ子、植村志保理、王玉、大作道子、おおつかのりこ、攪上久子、片桐早織、神谷丹路、河野万里子、汐崎順子、杉本詠美、南平かおり、野坂悦子、村岡直子、山崎美紀、よこのなな、横山和江、李麗、若松宣子、脇本美穂
	Japanese Children's Books おすすめ！日本の子どもの本 おすすめ！世界の子どもの本	梓澤設夫、おおつかのりこ、奥山恵、神谷丹路、河野万里子、坂口美佳子、さくまゆみこ、笹岡智子、汐崎順子、代田知子、神保和子、園田千絵、高野直子、土居安子、野上暁、福本友美子、堀内まゆみ、本田まゆみ、山崎美紀
講座・研究会	国際アンデルセン賞と世界の子どもの本講座	佐藤友紀子、汐崎順子、代田知子、神保和子、高野直子、竹迫祐子、中野怜奈、野上暁、広松健児、前沢明枝、百々佑利子、
	新・編集者講座	植村志保理、小野寺昌子、杉山知隆、中井はるの、中島尚子、野上暁、広松由希子、堀内まゆみ、増田喜昭、三輪ほうこ
	子どもの本の翻訳フォーラム	大作道子、おおつかのりこ、相良倫子、さくまゆみこ、武富博子、長友恵子、原田勝、堀内まゆみ
	希望プロジェクト・学びの会	攪上久子、さくまゆみこ、笹岡智子、代田知子、館野鴻、土居安子、中島尚子、野坂悦子、和田直
	トークイベント	宇野和美、大作道子、おおつかのりこ、片桐早織、神谷丹路、河野万里子、櫻井映子、柴なほ、竹迫祐子、武富博子、南平かおり、野坂悦子、よこのなな、若松宣子
会報の発行	石川えりこ、宇野和美、おおつかのりこ、押川理佐、角野栄子、神谷丹路、喜入今日子、日下部由佳、児玉ひろ美、太田美千子、朽木祥、小方桂子、小松原宏子、さくまゆみこ、高野直子、田中明子、田中美保子、堤嘉代、中島尚子、中村智子、長岡香織、にしがきようこ、野坂悦子、原田勝、平井富久子、広松健児、広松由希子、藤代亜紀、降矢なな、堀内まゆみ、堀川理万子、松井エイコ、松岡由紀、松岡礼子、松方路子、三輪ほうこ、森岡由紀子、山崎美紀、山本美希、岩波書店、偕成社、共同印刷、くもん出版、講談社、至光社、小学館、大日本印刷、東京図書館、図書印刷、TOPPAN、童心社、福音館書店	
広報・渉外	広報全般	植村志保理、宇野和美、太田美千子、おおつかのりこ、佐藤まどか、堀内まゆみ、吉野万理子
	ホームページ・SNS	安藤文菜、宇野和美、梅野愛子、太田美千子、佐藤まどか、汐崎順子、竹迫祐子、中野怜奈、堀内まゆみ、吉野万理子、和田直
	情報発信（世界⇄日本）	宇野和美、大友香奈子、さくまゆみこ、佐藤まどか、須藤建、高野直子、中野怜奈、広松由希子、藤田隆広、矢能千秋、和田直
	協力：子どもの読書推進会議	宇野和美、野上暁、鳥塚尚子
	協力：BIB 国内巡回展	広松由希子
	協力：山田養蜂場コンクール	植村志保理、喜入今日子
	協力：太田市美術館・図書館	鳥塚尚子
その他の事業	ポーロニャ国際絵本原画展	高木佳子、松岡希代子、森泉文美
	希望プロジェクト・支援活動	大塚敦子、柿田友広、攪上久子、さくまゆみこ、笹岡智子、清水由紀乃、代田知子、神保和子、鈴木史穂、館野鴻、土居安子、中島尚子、野口光世、野坂悦子、花井裕一郎、広松由希子、藤原潤子、町田りん、村中李衣、柳沼志津子、山中かおり、和田直
	フォーラム・子どもたちの未来のために	赤石忍、澤田精一、野上暁、濱野京子
	会員活動：ノンフィクションの子ども本を考える会	おおつかのりこ、小原解子、さくまゆみこ、中島尚子、長友恵子、二階堂恵理、藤田隆広
	会員活動：絵本部	申明浩、広松由希子、森岡由紀子
	会員活動：おしゃべり本の虫の会	植村志保理、宇野和美、おおつかのりこ、佐藤まどか、館野鴻、中村智子、横山和江、吉野万理子
	会員活動：YouTube 配信	愛甲恵子、宇野和美、おおつかのりこ、木村有子、こだまともこ、さくまゆみこ、杉本詠美、武富博子、野坂悦子、原田勝、福本友美子、前沢明枝、松浦直美、八木恭子、横山和江、若松宣子
	会員ボランティア	おおつかのりこ、木村有子、笹岡智子
ファンレイジング	宇野和美、竹迫祐子、館野鴻、野上暁	